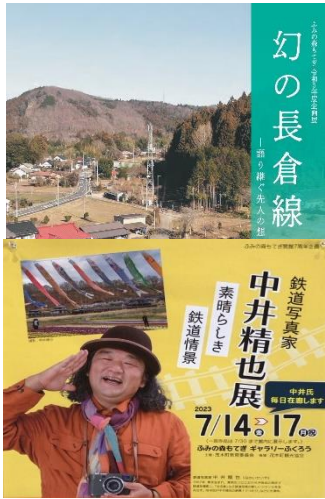




2023.8 備忘録 茂木町へGo!企画展 幻の長倉線展

発行元 小久保運送(有) / かたづけダンベえ 0270-32-1542



栃木県茂木町。ルーツが栃木県の私(社長)でも、ほぼ縁が無い町です。納品場所としても、あまり行かない地域でもあります。「ツインリンクもてぎ」がある、あの茂木町と言った方がわかりやすいかもしれません。

先日そんな茂木町へ行きました。目的は、鉄道写真家の中井精也氏の展覧会。特に下調べをせずに行ったのですが、その日、中井氏のトークショーが開催されることになっていて、幸運にも入ることができました。意外にも(失礼)、飽きさせない、写真を交えた絶妙なトークに癒され、更に優しい気な風貌からも伺える氏の人となりに触れ、作品の背景にある想いを知ること出来て本当にラッキーでした。(会場は満員。立ち見も出ていました。)

で、そこで知ったのです。茂木町に「長倉線」という未成線があることを。同時開催で、長倉線についての企画展も開催されていたので、そこも見

て参りました。資料が豊富で見ごたえがありましたよ。未成線マニアは是非!

ちなみに計画されて途中頓挫した鉄道路線を「未成線」と呼ぶそうですが、茂木町では町の観光資源として未成線・長倉線を活用してる様子。例えば、市の職員が鉄系ユーチューバーと撮った動画をアップしていたり(直近数で再生回数9.5万回)、ツアー等も企画しているようです。埋もれてしまった地域の歴史は、観光資源になるんだと改めて思いました。

翻って周りの誰に聞いても、観光資源に乏しいわが街。でも埋もれた歴史を掘り起こしたり、スポットの当て方・見せ方によっては、大化けする素材があるのかも?考えてみれば世界遺産がある市なんですよね。我が伊勢崎市は。そんなことを思った7月のお出かけレポートでした(笑)

(企画展 幻の長倉線は10/9まで「ふみの森もてぎ」で開催中。中井精也展は終了)



## かたづけダンベえから

先日10年前の今頃からお付き合いが始まった、かたづけダンベえの生みの親でもある大手コンサルティング会社の担当者さんと再会しました。と言っても、SNS上でつながったということなんですが、

でも、このSNSでつながっていること、携帯電話の番号を知っていることって、大事ですよ。連絡を取りたいときに何とかなる可能性が高いから。

振り返れば学生時代。卒業式の帰りに電車のホームで別れたっきり、一度も再会できずに亡くなってしまった友人。ある時、ブツと連絡が取れなくなり、以来30年。今だ音信不通の友人もいます。固定電話の時代でしたから、仕方ないのかもしれませんが。

と、そんなことを思いながら、これまでの歩みを思い出しておりました。これからますます高齢化が進むでしょう。私どもは今後も変わらず、おかたづけサービスを提供し、地域社会に貢献したいと考えております。

これからも「かたづけダンベえ」を宜しくお願い致します。



## ご紹介 伊勢崎市連取町「ガロガロクウクウ」さんのご紹介

伊勢崎市連取町のお花屋さん「galo galo」さんが夏季限定で営業する「galo galo coucou (ガロガロクウクウ)」さんが今夏も解禁。毎年ファンがオープンを待ちわびる「フアンタステイクス」で「氷」は、群馬県かき氷フェスで2年連続優勝!という絶品かき氷です。パウダースノーのようになふわふわ氷と、特製の手作り生シロップとの相性抜群。ほとんどの方が注文するという「全部乗せ」は、チョコミント・いちごの気持ち・熱帯マングロー・お茶づくし・恋するキヤラメル...の5種類。豪華なトッピングと、たっぷりの生シロップ。見た目も魅力的なフोटोजェニックなかき氷です。また、毎月第1土曜日は「ロビンフットデー」と題して、中



学生以下のお子さまにかき氷(ロビンフット用)が無料になるサービスを実施中です。お店で合言葉「ロビンフットを食べに来たよ!」を忘れずに。お店の前のスイーツ自動販売機には、10種類のスイーツが購入できます。大人気のバスケットチーズケーキと生クリームがカップに入った「coucou」は、アイマップ記者も太鼓判の美味しさです。氷の営業は夏季限定ですので、どうかお見逃しなく

## ひまわり



「galo galo coucou ガロガロクウクウ」  
住所: 伊勢崎市連取町1838  
電話: 0270-50-0462  
営業時間: 11:00~17:00 (7/21~9/3予定)  
火曜定休  
出典「アイマップ」 www.imap.ne.jp

学生時代。風呂無しアパートに住んでおりました。今でもあるんですよ。うかね?夕方になると、洗面器に石鹸とタオルを入れて、徒歩で近所の銭湯まで歩いて行ったものです。当時でも銭湯を利用していたのは、仲間内では珍しい方でした。群馬に帰り、銭湯は利用しなくなりましたが、S断くすると日帰り温泉というものがあちこちで始まりました。そこで時々思うことがあります。マナーを知らない人が多くなっていることを。銭湯で鍛えられた私には、何だかそれと違うことが多い。それもおっさんに多い。そんな使い方は、背中に綺麗な模様の入ったお兄さんに叱られるよ。マジで(笑) そんな当時の銭湯の風景を思いながら、日帰り

